

財政状況等一覧表（平成19年度）

(単位:百万円)

団体名 黒潮町

標準税収入額等 A	普通交付税額 B	臨時財政対策 債発行可能額C	標準財政規模 A+B+C
1,133	3,294	253	4,680

1. 一般会計等の財政状況

(単位:百万円)

会計名	歳入	歳出	形式収支	実質収支	他会計等からの繰入金	地方債現在高	備考
一般会計	7,169	6,985	184	146	43	9,819	
住宅新築資金等貸付事業特別会計	51	49	2	2	0	62	
宮川奨学資金特別会計	23	23	0	0	2	0	
老人保健事業特別会計	1	1	0	0	0	0	
一般会計等	7,150	6,964	187	149		9,881	純計

2. 公営企業会計等の財政状況

(単位:百万円)

会計名	総収益 (歳入)	総費用 (歳出)	純損益 (形式収支)	資金剰余額/不足額 (実質収支)	他会計等からの繰入金	企業債(地方債)現在高	左のうち一般会計等繰入見込額	備考
水道事業特別会計	131	109	22	346	1	694	57	法適用企業
簡易水道事業特別会計	211	211	0	0	51	922	526	法非適用企業
農業集落排水事業特別会計	36	36	1	1	29	523	523	法非適用企業
漁業集落排水事業特別会計	9	9	0	0	8	66	66	法非適用企業
国民健康保険事業特別会計	1,963	1,892	71	71	200	0	0	法非適用企業
介護保険事業特別会計	1,225	1,216	8	8	193	0	0	法非適用企業
老人保険事業特別会計	1,892	1,892	0	0	163	0	0	法非適用企業
介護サービス事業特別会計	16	16	0	0	14	0	0	法非適用企業
国民健康保険直診特別会計	91	91	0	0	8	0	0	法非適用企業
公営企業会計等 計				427		2,205	1,173	

- (注) 1. 法適用企業とは、地方公営企業法を適用している公営企業である。
 2. 法適用企業に係るもの以外については「総収益」「総費用」「純損益」の欄に、それぞれ「歳入」「歳出」「形式収支」を表示している。
 3. 「資金剰余額/不足額(実質収支)」は、地方公共団体財政健全化法に基づくものであり、資金不足額がある場合には負数(△～)で表示している。
 4. 「左のうち一般会計等繰入見込額」は、企業債(地方債)現在高のうち将来負担比率に算入される部分の金額である。

3. 関係する一部事務組合等の財政状況

(単位:百万円)

一部事務組合等名	総収益 (歳入)	総費用 (歳出)	純損益 (形式収支)	資金剰余額/不足額 (実質収支)	他会計等からの繰入金	企業債(地方債)現在高	左のうち一般会計等負担見込額	備考
幡多広域市町村圏事務組合	1,447	1,421	26	6	0	6,102	454	一般会計
幡多中央環境施設組合	120	120	0	0	0	215	51	一般会計
幡多中央消防組合	711	711	0	0	0	163	5	一般会計
こうち人づくり広域連合	125	116	9	9	0	0	0	一般会計
高知県市町村総合事務組合	6,098	5,185	913	913	0	0	0	一般会計
高知県後期高齢者医療広域連合	682	680	2	2	0	0	0	一般会計
一部事務組合等 計						6,479	511	

4. 地方公社・第三セクター等の経営状況及び地方公共団体の財政的支援の状況

(単位:百万円)

地方公社・第三セクター等名	経常損益	純資産又は 正味財産	当該団体から の出資金	当該団体から の補助金	当該団体から の貸付金	当該団体からの 債務保証に係る 債務残高	当該団体からの 損失補償に係る 債務残高	一般会計等 負担見込額	備考
該当無し									
地方公社・第三セクター等 計									

(注) 損益計算書を作成していない民法法人は「経常損益」の欄には当期正味財産増減額を表示している。

5. 充当可能基金の状況

(単位:百万円)

充当可能基金名	平成18年度 A	平成19年度 B	差引 B-A
財政調整基金		1,048	
減債基金		350	
その他充当可能基金		1,507	
充当可能基金 計		2,905	

(注) 「充当可能基金」とは、基金のうち地方債の償還等に充当可能な現金、預金、国債、地方債等の合計額をいい、貸付金及び不動産等を含まない。

6. 財政指標の状況

財政指標名	平成18年度 A	平成19年度 B	差引 B-A	早期健全化 基準	財政再生 基準	資金不足比率 (公営企業会計名)	平成18年度 A	平成19年度 B	差引 B-A
実質赤字比率	1.61	3.18	1.57	△ 15.00	△ 20.00	水道事業特別会計		266.2	
連結実質赤字比率		12.29		△ 20.00	△ 40.00	簡易水道事業特別会計		0.0	
実質公債費比率	13.7	13.6	△ 0.1	25.0	35.0	農業集落排水事業特別会計		9.3	
将来負担比率		66.8		350.0		漁業集落排水事業特別会計		1.3	
財政力指数	0.23	0.23	0.0						
経常収支比率	94.4	91.4	△ 3.0						

- (注) 1. 「実質赤字比率」「連結実質赤字比率」「資金不足比率」は負数(△～)で表示しており、収支が黒字の場合には便宜的に当該黒字の比率を正数で表示している。
 2. 「資金不足比率」の早期健全化基準に相当する「経営健全化基準」は、公営競技を除き、一律 20%である(公営競技は0%)。